

総括記録

司会者 それではただ今より、総括を行いたいと思います。

まず、各分散会場の報告者から、分散会の内容について報告をいただきたいと思います。

一学年分散会Aの報告者の方、よろしく願います。

一年A みんなあまり発表しなかったけど、午前中の全体会では電話で知らない人に「あんたエッタだろ」と言われたことが、一番腹が立ちました。自分の心の中で言っていたけど、発表のときに言えませんでした。今それをおえば、すぐく腹が立つ気持ちでいっぱいでした。

話し合いの時に、部落のことを知ったのは最近という人が多くいました。その人たちに「何か思ったことありませんか」とか言ったら、「初めは何も思わなかった」という人もいました。

司会者 ありがとうございます。

続いて一学年分散会Bの報告者の方、よろしく願います。

一年B 差別を知ったのは、先生から聞いたり、学習会な

どの勉強でわかった人が多かった。差別を知ったときは「なぜ差別をするのか」「地域に生まれて何が悪い」などがありました。その後の生活は、「仲間を増やしていきたい」や、「もっと部落差別についての勉強をがんばっていきいたいと思う」という発表が多かったです。

司会者 ありがとうございます。

続いて二学年分散会Aの報告者の方、よろしく願います。

二年A Aは、僕が司会を手こずっていて、レポートを書くのを忘れていたんだけど、テーマは資料に書いているやつと先生とか生徒で出し合って、みんな意見を言えたと思います。それを学校に行って、報告してほしいと思います。

司会者 ありがとうございます。

続いて二学年分散会Bの報告者の方、よろしく願います。

二年B 第二学年分散会Bでは、主に一つめはテーマの内容と、二つめはそれから離れて、今の学習会の状態や、学習会に参加できてない子がどうすれば来れるかなどについて話し合いました。他にも学習会での活動など、多

少暗かったけど、意見はたくさん出しました。僕が今一番心に残っているのは、二つめの学習会のことです。どの学校も同じで、人数が揃わない、部落のことをよく理解していない、自分が部落出身ということが気になって参加できていないなどの悩みや問題点が出てきました。それを解決するために、楽しい学習会にする。一人だけでなく、みんな一人ひとりが仲間と呼びかけたり、意見を言ったりしようなどの意見が出ました。まだまだ他にも意見が出たけど、時間が無くて書けませんでした。また意見交換の時に、足りない部分を言ってほしいと思います。

司会者 ありがとうございます。

続いて三学年分散会Aの報告者の方、よろしくお願いします。

三年A 第三学年Aの会ではテーマに添ってはいかなかったけれど、それぞれ出たことは、「だんだんと解放運動がしんどくなってきた」とか、「部落内外ではやっぱり違う。部落に生まれたら不利になる」とか、「差別に直面しても、自分自身は絶対いけると思っていてもどこかに不安がある」など、他にもいろいろな意見が出ました。

が、その中でも、「部落である自分自身がしっかりせないかん」と心強い意見もたくさん出てきました。最終的には差別と闘うということは、自分自身との闘いということがわかりました。

司会者 ありがとうございます。

続いて三学年分散会Bの報告者の方、よろしくお願いします。

三年B 今日の3年のB班の話し合いでは、ある女の子のお姉さんの結婚差別の話が中心となりました。お姉さんが部落であるということを、結婚相手や両親に言うべきかどうかで話し合いました。出てきた意見のほとんどが、言った方がいいという意見が出ました。

その他、香川県の先生二人ぐらいたが発表してくれました。

今日の話し合いは、全員発表こそ無理でしたが、みんなが一人のために一生懸命考えたと思います。

司会者 ありがとうございます。報告をしていただいたみなさんは降壇して、元の席に戻ってください。

まだ総括終了時刻までしばらく時間があるようなので、付け加えるような内容や、発言しきれていないことがあ

りましたら、この機会に発言お願いします。中学生以外の参加者の発言も結構ですので、よろしくお願いします。

国府中 国府中のMです。

分散会の時にも言ったんだけど、もし差別に直面したときどうしたらいいかっていうことで話し合ったんです。その時の自分の意見で、直面したときのことを考えて、この中学の間に……僕高校になるんですよ次。中学の間に、自分なりの意見を持つっていうことを言いました。というか、それが良いと僕は思います。だから僕はもうあと中学校生活なんてたかがしれてますから、今のうちががんばってつくっていかんとあかんのですけど、みなさん、2年生とか1年生のみなさんはまだまだ結構中学校生活とかあるし、その間につくっていつてくれたらいいと思います。あと、中学生としてこの会に参加するのは今年が最初で最後になるんで、この会がもっと発展することを祈ります。

板野中 板野中学校3年のMです。

分散会の司会をやったんですけど、ほんまにすごい感動することばかりで、胸が熱うなるような体験を聞いたんですけど、また体験は本人に言ってもらおうと思う

んだけど。ほんまに自分の心の底から思ってることを出すっていうことで、ほんまに信頼できるっていうか、ほんまにほんまの仲間がつくれていくっていうことを、今日こつつい感じたんです。ほんで、同じ立場の人間として「ああそうなんか」とか、助けてほしいときには「助けてほしい」って、「考えください」って、正直に言えた分散会だったと思うし、一人のためにみんな考えたと僕は思います。やっぱり、自分のした体験っていうのを語っていくっていうことは、ほんまに僕らにとっても勉強になることだし、今まで遠くに感じてた部落差別などが、ほんまに自分のことのようにひしひしと感じました。今日の分散会はほんまに良かったと思うし、香川県から来てくださった先生が発表してくれたんだけど、分散会終わった後でもわざわざ来てくれて、「ほんまに私がんばります」って、「他の先生がどんなに言おうが、私は自分の意見を貫いていきます」って、僕に言うてくれました。ほんまにお互いが共感し合ってたっていうか、ほんまに年令とか越えて同じ気持ちになれたっていうんで、ほんまにすごい感動しました。やっぱり絶対切れん関係っていうのを、今日はつくれたと思います。

板野中 板野中学校3年のTです。

僕が行った3年生の分散会Bで、ある女の子のお姉さんが、結婚差別には遭ってないけど、結婚差別のこの問題について提起してくれたんです。そのお姉さんは配偶者にも、結婚相手にも、その両親にも自分が部落って言ってないらしいけど、やっぱり僕が実際にそういう立場に立っとん違うけん、その人の気持ち全部はわからんけどな、ほなけど部落っていう同じ立場の人間としてな、やっぱり自分が部落の出身ですってはっきり言うて闘ってほしいと思うんよ。「お姉ちゃんは『幸せ』って言よった」って言よったけどな、やっぱり隠し事がある幸せって、ほんまの意味での幸せ違うって思うんよ。人の意識を変えるっていうんは難しいしな、九十%はうまくいかんと思うんよ。ほなけどやっぱり、二人がほんまにお互い結婚したいと思って結婚しとんだったら絶対切れんと思うしな、闘っていきける力っていうんかな、ほういうんがあると思うんよ。やっぱり部落の人間である以上な、結婚差別っていうんは、就職差別とかほういうんは受けん場合もあるけど、結婚差別っていうんは、百人いたら九十人が受けると思うんよ。そういうときにな、

「部落の人間やけんしやあない」とか思ったりして諦めるっていうのは、なんか惨めなっていうか、ほんまに自分の幸せになる権利を自分で放棄してるっていうか、そういう意味と思うんよ。やっぱり、部落に対して間違った意識もってる人等に対してはつきりと、「部落差別っていうのはこういうんじよ」って、冷静になって説明して納得させるような賢さとか、知識とかが身についてなかったら部落差別と闘うことやでけんし、やっぱり差別っていうのが何かっていうのがわかってないとあかんと思うし、やっぱり僕もまだ知識が全然足りんけんな、もっともっと本とか読んだりして、機会があったらこういう会とかにも積極的に参加していききたいです。

大麻中 大麻中学校のKです。

僕も分散会に参加して、すごく勉強になって、今まで僕が勉強してきた部落の問題とかが、すごい間近に見えてきて、自分の近くに見えてきて、今までは割と客観的に見えてただけど、この会に参加させてもらって、自分の中にすごい勉強になったし、みんなの体験とかも聞かせてもらって、僕も勉強せなかんなと思つて、もつと勉強せなかんなと思つて、今ここにいます。

い、話まとまらなくてごめんなさい。

板野中 司会進行マニュアルを作ったYです。

中学生以外の方にも発言をというふうに、敢えて入れさせてもらいました。おそらく中学生以外の人で発言をしたい人もいるだろうと思ったので、そう書かせてもらったわけで、自分もおそらくその中の一人になるだろうと思ったので、そう書かせてもらいました。で、発言をさせてもらおうと思います。

実は昨年の夏に、八校ぐらいが寄って会を開きました。その時のイメージがすごく良かったもんですから、来年は更に多くの中学校で、県内の集会としてやろうということで、県内の中学校の主事の先生に呼びかけて、今回こういう形で実現することができました。残念ながら、全ての分散会に参加できてませんけども、1年生の分散会はやはり、司会がすごくまだ難しいなという実感を得ました。その中で、よく司会をしてくれてるなと思えました。あと2年生、3年生は雰囲気しか感じることはできなかったんですけども、3年生の雰囲気っていうのは、明るさの中に真剣さがあって、笑いも聞こえてくるし、涙声も聞こえてくるっていうように、本当に真剣味

のある会がされてるなっていうことを感じました。残念ながらその中身までは聞けなかったのが、本当に残念ななりません。

2年生の方も、すごく拍手が多くってね、「あつ、いい会だな」っていうのを、傍目で見ていて感じました。

来年この会がどういう形になるかっていうのは、全くわかりません。特に3年生は来年卒業するわけですけども、これから先輩に出ていくとか、もしくは高校に進学しない子は、さてどうするのかっていう、そういう問題もあると思います。たちまち今の中1、中2の子たちはぜひともですね、また来年やろうっていうような声があがってくるような盛り上がりを各中学校で、ぜひともみせてもらえたらなと思います。

また、今の板中の1、2年生の子が、県の集会ですね、この集会をどういうふうに感想をもったかっていうこともすごく興味あるし、そのことを学校に帰ってどう伝えるかっていうこともすごく興味あるし、それが来年またこの会が開かれるかどうかということにつながってくると思います。それはおそらく他の中学校でもいえることだと思います。

本当の部分で議論してほしかったものは他にもあったんですけども。例えば、ある中学校によると、学習会のことが学校生活の中で出せないっていうことも、あると思うんですよ。学校の中で「学習会に行きよる」とか、学習会っていう言葉すら出せないっていう状況であると思うんですよ。その子らは、この集会に行ってきたっていうことを、おそらく言えんと思うんです。けど、こういう集会があつて、こんな内容やつて、どうやった、良かった、悪かった、ほなけどもまた行きたいっていうふうなことが出てくるような、そんな感想をもつて中学校に帰ってくればいいなあって思います。本音の部分で言うと、また来年も開きたいっていうのが本音です。それを実現するかどうかは、中学生自身にかかっていると思います。ぜひとも開きたいと思います。1、2年生の人、よろしく願います。また、若干ですけども、高校の先生が参加してくれてます。来年もつと高校の先生に参加してもらつて、「今の中学生こんなんやで」っていうのを見てもらつて、それで高校の先生に送り出せれたら、みんながみんな高校に行くわけやないですけども、そういう状況も作れたらと思います。

せっかく時間があるんで、他にも意見があれば、司会の人を助ける意味でも、また自分自身すっきりする意味でも発言をして帰ってもらえたらと思います。以上です。

豊中 豊中のKといいます。

今の先生の発言で、考えもまとまらないままに手を挙げたんですが、香川県からおそらくただ一校参加させていただいています。まずもつて他県でありながら参加したにもかかわらず、あたたかく迎え入れてくれたことを、お礼を言いたいと思います。どうもありがとうございます。

豊中中学校からは、今日は3年生が四人、2年生が二人、1年生が五人参加しているわけですけども、実は参加できてない子がおるんです。3年生が三人、1年生が二人参加できてないんです。特に午前中の全体会をしたおりに、今日参加できてない何人かの子の顔が浮かびました。ぜひともこの子とこの子だけはこの場に連れて来たかったなということです。どういふことかと言いますと、午前中に豊中中学校の取り組みということで、今年初めて文化センターっていうところで、自分たちの学習会のことを、校内の何人か自主参加者を集めて発表した

ということを言ったんですが。これは、言えば豊中中学校には今までなかった画期的な出来事やったわけです。

簡単に言いますと、豊中中学校の他の中学生に向けて地区の子どもたちが自分たちの立場を言ったという取り組みです。実はその取り組みの後に、その取り組みの日は、参加した子が積極的な意見をどんどん言ってくれて「これはやって良かった」と、いうふうな前向きな言葉を言った子なんです。一週間ぐらい経ったある日話をしよったら、「先生、私後悔しとる。なんであの日、私あんなこと言うたんやろか。後悔しとる」というわけなんです。別にこれといって何かがあったということではないんですが、その時は気持ちが盛り上がって良かったんですが、何日か、おそらくみなさんにも経験あると思うんですが、時間の中で、自分と周りの状況というのを、ついつい冷静に見てしまうと、そこにまた戻ってしまったわけです。文化センターで、みんなの前でがんばって言った子が、後悔しとるというところに戻ってしまったわけです。今もその状態が続いてるわけです。だから、あの子をこの場に連れて来てたら、もう一回元気が出る元を、この集会でもらえたんでないかなということ、

つくづくとそのことを感じながら座ってました。いずれにせよ今日の会で参加した豊中中学校の生徒たちは、よくわかりませんが、何かを感じとると思うんです。それがまた豊中中学校へ帰ってうまいことそれをきっかけに広めていくことができるかどうかということも、今から帰ってみて話をしようかと思っています。その辺がまたうまくいったら、先ほどの話もありましたが、徳島の中学生がまた来年このような集会を持つのであれば、豊中の方でもこの集会をもどに広く固めていけるものがある、それを持って、来年もぜひこの集会に参加したいなど、そういうことを考えながら、一日座ってました。今日はどうもありがとうございました。

渕崎小 失礼します。香川県の渕崎小学校から、今日この会があると聞いて参加させてもらいました。感想になるんですが、ちょっと発言させてもらいます。

僕は今年で二年目です。教師になって。うちの小学校にも、同和地区の子が現在三人います。うちの環境としては、こういうふうな、自分たちの心の底にあるものを、発言させてやる機会が全然ないので、自分にもそういう力が今ないので、ぜひこの徳島で、こういう雰囲気なの

かということを感じさせてもらおうと思って参加しました。朝からずっと、全体会、分散会通して感じたことは、やっぱり自分がどれだけ熱く生きていけるかっていうことが大事やなっていうことを教えられました。それは教師である僕も、自分の中でやっぱり熱く燃えてないと、一緒に生活していく子どもたちにもそれが伝わらないなと思いました。司会をしてくれる一人ひとりのみんなも、本当に真剣にやっているとろを見せてもらって、すごく勇気づけられました。今日はありがとうございました。

司会者 活発な意見、ありがとうございました。

それではこの後引き続いて、閉会行事にうつらせていただきますと思います。準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。